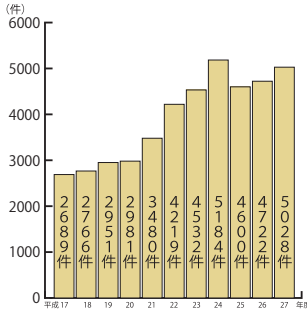


保健管理センターの精神科 受診者 10年で約2倍に

精神科の受診件数の推移



診療サービスの有料化を検討中の筑波大学保健管理センターで、精神科の受診件数が27年度に5028件と、10年前(2008年)の約2倍に増加していることが同センターの取材で分かった。太力川所長(医学部臨床心理学)は「筑波大生は真面目で精神的圧力が強い」と分析する一方、受診生には恋愛の悩みなど精神科の対応が必要な例も増えていると指摘。同センターには臨床心理士の学生相談無料センターの運営経費は年間約100万円不足する状態が常態化し、打開策として精神科を含む診療サービスの有料化を検討している。

太力川所長によると、精神科の受診件数は増加傾向にある。また太力川所長は「精神科の受診生は鬱々とした気分や不眠、不安ややる気が出ないなどの症状訴える場合が多い」と分析する。また太力川所長は「精神的に苦しい学生が増えている」と指摘する。また太力川所長は「精神的に苦しい学生が増えている」と指摘する。また太力川所長は「精神的に苦しい学生が増えている」と指摘する。

「NEWS」は、土浦市を主対象に発行されてきた「常陽新聞」が大きな転機を迎えている。1948年創刊の同紙は、2013年に経営不振で廃刊。14年デジタル化を期して再発刊したが、発行部数が伸び悩んで17年3月末に休刊した。現在同紙は、元記者らが8月にNPO法人「NEWS」を立ち上げ、新設立ち上げ活動拠点を筑波大学院大学(以下「筑波大」)に設け、ネット上で同紙のニュースを配信している。法政の経緯や地域紙の役割などを同法人理事長の坂本栄二に聞いた。

(前掲) 坂本栄二(社会福祉3年、佐々木悠里)

理事長インタビュー

「常陽新聞」新たな門出

「NEWS」は「ウェブ」で発信

「NEWS」は、土浦市を主対象に発行されてきた「常陽新聞」が大きな転機を迎えている。1948年創刊の同紙は、2013年に経営不振で廃刊。14年デジタル化を期して再発刊したが、発行部数が伸び悩んで17年3月末に休刊した。現在同紙は、元記者らが8月にNPO法人「NEWS」を立ち上げ、新設立ち上げ活動拠点を筑波大学院大学(以下「筑波大」)に設け、ネット上で同紙のニュースを配信している。法政の経緯や地域紙の役割などを同法人理事長の坂本栄二に聞いた。

(前掲) 坂本栄二(社会福祉3年、佐々木悠里)

「地域のメディア」目指す

市長は白紙撤回した総合運動公園(予定地)は市徳の建設費の検証(など)を公約の多くは達成されていない。土浦市では、11月27日に土浦市立図書館が土浦駅前に移転するが、新図書館の蔵書の収容能力は県内屈指の蔵書が廃刊し込まれており、日本でも同様の事態は十分想定される。地方メディアの新しい形として「NEWS」は、がモチルなればと思。

◆

坂本栄二(さかもと、さか) 1946年土浦市生まれ、時事通信社元シニア編集長。

障がい者スポーツ体験も

障がい者スポーツ体験も 障がい者の有無関係、性別の多様性について考えるイベント「ダイバーシティ・アウェアネス・Week 0017」が、10月16日に、石の広場で開催され、展示や講演会、5日間で18の企画がわかれた。

3日は右の広場で、アスリートが障がい者スポーツの魅力を伝えるイベント「ダイバーシティ・アウェアネス・Week 0017」が、10月16日に、石の広場で開催され、展示や講演会、5日間で18の企画がわかれた。

記者の目

10月29日朝刊「記者が消えた街」はこの問題に触れ、地域行政を監視すべき地元紙の欠如が問題を抱えている。

「NEWS」は「NEWS」の坂本栄二は、地域メディアの存在が行政の不正の抑止力になると、方説した。筑波大学周辺でも配布されている紙は過去、大学周辺の暗い道でわいせつ事件の多発を機にキャンペーンを行い、それが地域の街灯設置や、問題を話し合う市の協議会設立に繋がった。地域メディアは大手メディアの空白を埋める。「NEWS」は「NEWS」に期待している。(佐々木悠里)

互いを知り多様性考える

互いを知り多様性考える 障がい者の有無関係、性別の多様性について考えるイベント「ダイバーシティ・アウェアネス・Week 0017」が、10月16日に、石の広場で開催され、展示や講演会、5日間で18の企画がわかれた。

3日は右の広場で、アスリートが障がい者スポーツの魅力を伝えるイベント「ダイバーシティ・アウェアネス・Week 0017」が、10月16日に、石の広場で開催され、展示や講演会、5日間で18の企画がわかれた。

TC C事前説明会

TC C事前説明会 筑波大学から起業家の森川さん講演も

筑波大学から起業家の森川さん講演も

筑波大学から起業家の森川さん講演も

将来が不安じゃない人なんていない。

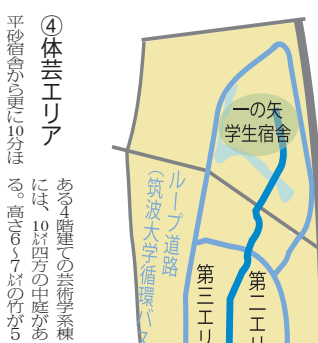
プレゼン力が上がる + レポートや卒論を書く力になる + 企業研究の強い情報源になる = なりたい自分

だから朝日新聞。

朝日新聞 ひとり暮らしの学生さんなら学部が使えます! 詳しくは朝日新聞のほ 検索

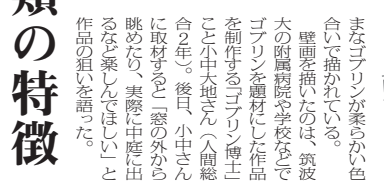
ぶらつくば ~アート編~

④ 体芸エリア
 平砂宿舎から更に10分ほど北へ北へ北へ、体育・芸術エリアに着く。本館から体育・芸術エリアへ着く。渡津教授は「同エリアには、細部までこだわりのある、例えば、5C棟や体芸食堂の前には、白いタイルが地面に敷かれている。以前は駐輪場、の悪が自立していたが、タルを敷いて彫刻を置くように、駐輪場が自然に無くなった。渡津教授は「駐輪禁止の紙を貼る」という方法で、中庭の壁に、木や草花の絵を貼った。また、5C棟のすぐ西に



ある4階建ての芸術系棟は「芸術ゴブリン」。ゴブリンとは、いたずらをする妖精だ。だ、その形をさながら、がごには、筑波大の各学類の特徴を表す。本やノラ、スナなどの形をさながら、まなゴブリンが柔らかな色合いで描かれている。壁面を飾ったのは、筑波大の附属病院や学校などでゴブリンを題材にした作品を制作する「ゴブリン博士」こと小中大さん(人間総合学系)。後日、小中大さんから取材すると「窓の外から眺め、実際に中庭に出るのを楽しんでいた」と作品の狙いを語った。

⑤ 一の矢宿舎
 体育・芸術エリアから北へ歩いて20分、森に囲まれた一の矢学生宿舎の壁面に、様々なキャラクターが目に見えびんできた。壁面の題



壁面のゴブリンを解説する小中大さん(10月14日、一の矢学生宿舎) = 池田花於里撮影



パネルを指差す渡津教授(10月11日、筑波大学西のバス停で) = 越智小夏撮影

ゴブリンで学類の特徴
 壁面のゴブリンを解説する小中大さん(10月14日、一の矢学生宿舎) = 池田花於里撮影

このぼれ話
 学内の他の芸術作品にも話弾んだ。

■ パネル
 筑波大をめぐると、丸丸の道路、どろりや紅葉の写真が印刷された、高さ2メートルのパネルが随所に設置されている。かつて大

彫刻
 学内には、教員や学生が作成した彫刻が所に32個あり、少しずつ増えている。大半が02年の学内の設けられた「キーンパスリニール」で設置された。像を自立させた彫刻は、人治五郎先生像。東洋のロダンと呼ばれる彫刻家、ロダン氏の制作で、彫刻を制作した。彫刻を制作する時は、作品と同じ大きさの紙を準備し、目印を開いた状態で石膏が広がる。彫刻を制作する時は、作品と同じ大きさの紙を準備し、目印を開いた状態で石膏が広がる。

5つのアートスポット
 筑波大には、大きく分けて5つのアートスポットがある。①医学エリア②国際統計睡眠医学研究機構③平砂学生宿舎④体育・芸術エリア⑤一の矢学生宿舎だ。順次紹介する。

① 医学エリア
 医学エリアは、近々入病院関係者の癒しになることを目的として、芝生の広場に目を引くのは、ひびく色の淡いピンク色の豚の彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

② IIS棟
 医学エリアから西へ歩いて20分、国際統計睡眠医学研究機構(IIS)棟がある。設計段階からアート要素を組み込む機会はない。柳正中橋が研究する「睡眠」がテーマ。齋藤准教授は「設計段階からアート要素を組み込む機会はない。柳正中橋が研究する「睡眠」がテーマ。齋藤准教授は「設計段階からアート要素を組み込む機会はない。」と語った。

③ 平砂宿舎
 IIS棟から北に3分、色鮮やかな平砂学生宿舎に伝わった。学生が自由に色を塗ることができ、色鮮やかな平砂学生宿舎に伝わった。学生が自由に色を塗ることができ、色鮮やかな平砂学生宿舎に伝わった。

④ 一の矢宿舎
 一の矢宿舎には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

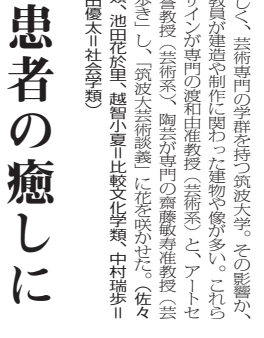
全作品「睡眠」がテーマ
 「睡眠と覚醒の間」だ。き狸の母豚と豚が寄り添っている。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

⑤ 一の矢宿舎
 一の矢宿舎には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

⑥ 一の矢宿舎
 一の矢宿舎には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

⑦ 一の矢宿舎
 一の矢宿舎には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

⑧ 一の矢宿舎
 一の矢宿舎には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋



天井から吊るされた豚の奥には齋藤准教授の作品「Dorveille(睡眠と覚醒の間)」が見える(10月26日、IIS棟で) = 越智小夏撮影

「睡眠と覚醒の間」だ。き狸の母豚と豚が寄り添っている。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

「睡眠と覚醒の間」だ。き狸の母豚と豚が寄り添っている。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

「睡眠と覚醒の間」だ。き狸の母豚と豚が寄り添っている。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

棟の外観には、白を基調とした彫物。作者は、齋藤准教授。完成は15年。9階建ての建物は、柳正中橋

管弦楽団 プロ招き充実の演奏会 独奏とオケの息合った好演で魅せる



公演前、入念に演奏練習を行う指揮の田中氏と団員ら(10月28日、ノハホールで)

管弦楽団の第81回定期演奏会10月28日(ノハホール)は、指揮者に国内外のオケストラで活躍する田中一嘉氏、ピアノ独奏にフジの戸室氏を招き、会場には約800人が訪れた。

3曲編成の演奏会は、プログラムとして「大正祝典序曲」短調 作品89で始まった。ドイの学生歌をもとにしたストロのようにな楽曲。理性的な曲調で、若々しくあふれる団員らの演奏、観客を魅了した。

続くピアノ協奏曲第2番「ピアノ」は作者S.V.ラフマニノフの代名詞、ドラマチックな表現も多用されている。物悲しい戸室氏の独奏、始まりやがて管楽器が絡みついていく。団員らがよく曲意を理解しており、安心して演奏できた。と語った。田中の息の合った好演、観客の心を魅了した。

「私たちが作りまじた」落研 寄席と大喜利で盛況

筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。この寄席は、筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。この寄席は、筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。

受講生が16演目を披露

10月27日、国交省員教授(芸術系)らが行った芸術系受講生が16演目を披露した。観客は、観客の心を魅了した。

「私たちが作りまじた」落研 寄席と大喜利で盛況

筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。この寄席は、筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。

受講生が16演目を披露

10月27日、国交省員教授(芸術系)らが行った芸術系受講生が16演目を披露した。観客は、観客の心を魅了した。

「私たちが作りまじた」落研 寄席と大喜利で盛況

筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。この寄席は、筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。

受講生が16演目を披露

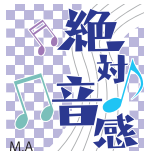
10月27日、国交省員教授(芸術系)らが行った芸術系受講生が16演目を披露した。観客は、観客の心を魅了した。

「私たちが作りまじた」落研 寄席と大喜利で盛況

筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。この寄席は、筑波大学落語研究会の落研 寄席は、10月9日(ノハホール)に開催された。

受講生が16演目を披露

10月27日、国交省員教授(芸術系)らが行った芸術系受講生が16演目を披露した。観客は、観客の心を魅了した。



絶対音感

音楽を聴いて、ある風景を言葉の真の意味で明確に表現する。絶対音感を持つ人は、音を聴いただけで、その音の高さを正確に認識できる。これは、音楽の世界で非常に貴重な才能である。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。



美しく重なる歌声を響かせる団員たち(10月13日、つくばカピオで) = 建内亮太撮影

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。

秋の麦畑に思いを馳せる

立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。立ち始める。厳しい環境に、秋の麦畑に思いを馳せる。



『セララが街にやってきた』

清野 由美著 (日経ビジネス人文庫)

本書は、アメリカ・ペンシルベニア州のセララ・カミングが、長年小布庵にやってきて、地域の再生・活性化を実現してゆかぬを描いた、実に楽しく痛快なエッセイ。改めて読者の心を打つ。『セララが街にやってきた』は、清野由美の代表作である。

平沢 照雄 教授 (地域経済学)

人文社会系・教授、長野県出身。博士(経済学)。高知大学人文社会学部助教授、筑波大学人文社会学部学術研究科教授を経て、2011年10月より現職。

地域を変える「不協和音」

和音を小布庵の人々には、再生として排除してはならない。再生のキーパーソンとして受け入れられた。もちろん最初からウエルカムだったわけではない。しかし、風俗の活動が、同調を生み、小布庵に新しい息を吹きかかせた。

地域を変える「不協和音」

和音を小布庵の人々には、再生として排除してはならない。再生のキーパーソンとして受け入れられた。もちろん最初からウエルカムだったわけではない。しかし、風俗の活動が、同調を生み、小布庵に新しい息を吹きかかせた。

地域を変える「不協和音」

和音を小布庵の人々には、再生として排除してはならない。再生のキーパーソンとして受け入れられた。もちろん最初からウエルカムだったわけではない。しかし、風俗の活動が、同調を生み、小布庵に新しい息を吹きかかせた。

地域を変える「不協和音」

和音を小布庵の人々には、再生として排除してはならない。再生のキーパーソンとして受け入れられた。もちろん最初からウエルカムだったわけではない。しかし、風俗の活動が、同調を生み、小布庵に新しい息を吹きかかせた。

催事

11月14日(火)19日(日)にDCC展が茨城県では美術展(つくば市立)で開催される。DCC展は筑波大学大学院の人間総合科学研究科の博士後期課程で芸術専攻する学生が制作した洋画・版画・日本画・彫刻・書・芸術支援の作品を展示する。開催時間は午前9時30分から午後5時まで。最終日は午後5時で閉館。入場は無料。問い合わせTEL:070-32660051 email:shinden@gmail.com

今考える奨学金問題

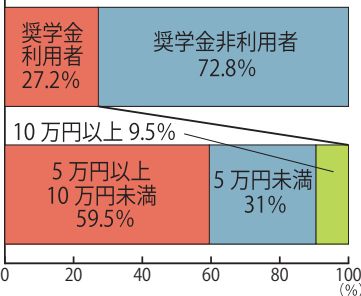
「下面続き」将来の返済が不安な「奨学金は、少なからず無利子にすべき」と、本紙が筑波大学631人に行った奨学金のアンケート調査は、返済が必要なく「貸与型」奨学金に対する不安が相次いだ。今年度から政府が返済不要の「給付型」奨学金を実施する一方で、「貸与型」では、多額の奨学金返済に苦しむ若者の存在が社会問題となっている。調査結果を併し奨学金の現状や問題、今後の見通しなどを探った。(木村順一、文学部 池田花於里、経済学部 樋口夏二、文学部 化学類 秋田耕二、社会学部 南井二、教育学部)

利用者の9割弱「貸与型」

調査結果

「利用者は3割弱」アンケートの結果、有効回答のうち奨学金の利用者は27.2% (100人)、非利用者は72.8% (456人)だった。利用者のうち「貸与型」を利用する学生が82.2% (150人)と全体の9割で、「無利子型」の割合は17.8% (34人)だった。返済金の内訳は「返済開始後」が46.8% (77.4人)、「返済開始前」が53.2% (88.1人)だった。また、「返済開始後」の内訳は「返済開始後1年以内」が31.0% (52人)、「返済開始後1年以上」が22.8% (37.2人)だった。返済開始前の返済内訳は「返済開始前1年以内」が21.6% (36.6人)、「返済開始前1年以上」が31.6% (50.5人)だった。

奨学金利用の有無と月々の合計額



◆調査方法 10月10日、総合目的授業「奨学金に関するアンケート」を実施。設問は選択回答含む12項目、計631人から回答を得た。学群別の内訳は、人文・文化116人、社会・国際40人、人間20人、生命環境63人、理工112人、情報56人、医38人、体育専門32人、芸術専門1人、大学院1人、未回答2人だった。

学生631人に調査

「調査方法」10月10日、総合目的授業「奨学金に関するアンケート」を実施。設問は選択回答含む12項目、計631人から回答を得た。学群別の内訳は、人文・文化116人、社会・国際40人、人間20人、生命環境63人、理工112人、情報56人、医38人、体育専門32人、芸術専門1人、大学院1人、未回答2人だった。

返済20年「結婚ためらう」

「返済20年」返済期間が20年を超えると、結婚をためらうという声も聞かれた。返済期間の長期化は、奨学金利用者の生活に大きな影響を与えている。特に、返済期間が10年以上になると、生活費の負担が増えるという声が多く聞かれた。また、返済期間が長くなるほど、将来の生活設計が難しくなるという声も多かった。

「奨学金のおかげで勉強できる」

「奨学金のおかげで勉強できる」多くの学生が、奨学金のおかげで勉強に専念できているという声が多かった。特に、学業に集中できるという声や、生活費の心配がなくなるという声が多く聞かれた。また、奨学金のおかげで、将来の夢を実現できるという声も多かった。

学生の声

「返済は奨学金で」1年の返済は、4月から10月までの期間で行う。返済期間が長いと、生活費の負担が増えるという声が多かった。また、返済期間が長くなるほど、将来の生活設計が難しくなるという声も多かった。

返済の遅滞

「返済の遅滞」返済が遅れると、滞り金や延滞料金を支払わなければならない。返済が遅れる原因は、生活費の不足や、精神的な負担などが挙げられる。また、返済が遅れるほど、将来の生活設計が難しくなるという声も多かった。

識者の声

「識者の声」奨学金制度は、学生の生活を支援する重要な役割を果たしている。しかし、返済負担が重くなるなど、問題も指摘されている。政府は奨学金制度を改善し、学生の生活をさらに支援する必要があるという声が多かった。

奨学金問題は社会全体の問題

「奨学金問題は社会全体の問題」奨学金の問題は、単に学生だけの問題ではなく、社会全体の問題である。政府や大学、社会が連携して、奨学金制度を改善し、学生の生活を支援する必要があるという声が多かった。



取材を行った日本学生支援機構市谷事務所 (9月27日、東京都新宿区) = 池田花於里撮影

日本への奨学金制度

「現状」今年度から始まった政府の奨学金制度をめぐり、日本国民の負担が重くなるのではないかと懸念されている。また、返済負担が重くなることで、奨学金利用者が減るのではないかと懸念されている。政府は奨学金制度を改善し、学生の生活を支援する必要があるという声が多かった。

返済遅れで取り立ても

「返済遅れで取り立ても」返済が遅れると、滞り金や延滞料金を支払わなければならない。返済が遅れる原因は、生活費の不足や、精神的な負担などが挙げられる。また、返済が遅れるほど、将来の生活設計が難しくなるという声も多かった。

識者の声

「識者の声」奨学金制度は、学生の生活を支援する重要な役割を果たしている。しかし、返済負担が重くなるなど、問題も指摘されている。政府は奨学金制度を改善し、学生の生活をさらに支援する必要があるという声が多かった。

大内裕和教授

「給付型」開始

政府の動き

文科科学省による国の奨学金制度は日本学生支援機構が行っており、前身の大日本育英会が1943年から開始。これまでは無利子

が有利子(2017年3月時点の固定金利0.33%)の貸付型「だけ」だったが、今年度から「給付型」の奨学金も導入される。保護者の世帯年収が1043万円以上、私立大学に入学以外から通学する入居者も対象となる。

この奨学金は、収入が一定基準を下回る世帯の生徒から成績優秀な生徒まで、年収400万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。

公的な「給付型」奨学金

	国公立大		私立大
	授業料全額免除なし	あり	
自宅通学	2万円	0円	3万円
自宅外通学	3万円	2万円	4万円

低所得者への支援を拡充

この給付型は、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。

また、低所得者への支援を拡充するため、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。

視点

これは、半数の学生が給付型の奨学金を希望している。平均年収は平成12年度に461万円を境に減少傾向あり、家庭の教育費負担が増えている。

また、返済が必要ない給付型奨学金は、返済不要の奨学金として支給される。年収が62.9万円以下に引き上げられ、返済不要の奨学金として支給される。

使いやすい奨学金を

今振り返ると、この間に皆さんの出会いに恵まれて自分の作品を制作発表することができています。私にとっては、心当たりが、今サッカーに力を入れて取り組むことに決めたことだと思います。

手紙

戸田 浩二さん

私は、茨城県南関東で陶芸家として活動しています。大学時代はサッカーが大好きで、サッカーにひたすら打ち込んでいました。



橋本悠希助教

現代人の運動不足を楽しく解消

足の中を走る感覚を再現する。これまでに、足指の爪の爪を振動させることで、それが足の腹に伝わるという技術が開発されたが、橋本助教はこれを足に活用

運動不足を感じ始めるのが、冬から春にかけて。新しいシューズを始めると、足が疲れる。これは、運動不足を感じ始めるのが、冬から春にかけて。新しいシューズを始めると、足が疲れる。



現在開発中の装置 = 橋本助教提供

サッカー選手から陶芸家へ

私は、茨城県南関東で陶芸家として活動しています。大学時代はサッカーが大好きで、サッカーにひたすら打ち込んでいました。

私は、茨城県南関東で陶芸家として活動しています。大学時代はサッカーが大好きで、サッカーにひたすら打ち込んでいました。その後、半年間、冬山に籠って雪が溶けるまで、アイススケートをしていました。そして、陶芸を始めました。

現在、東京やニューヨークのアートフェアやギャラリーで陶芸を展示しており、アメリカの3つの美術館で作品が所蔵されています。また、自然のもの(粘土、薪、灰)を使った作品を制作しています。その中で、10年以上の歴史があり、奥が深い世界に通用する。そして、年間約1000人の観客が来場する。これは、私が作りたいような形を作りたいという思いから、自分自身で制作することになりました。

最後に、大学生生活真っ最中の皆さんが、自分の好きなことに没頭して、素敵な思い出があることを祈っています。平成7年度体育専門学修(1)

関東秋季リーグ 男子 8勝3敗で準優勝



相手のブロックをかわしてスパイクを狙う田城 (10月15日、東京学芸大戦で) = 井手真琴撮影

【専修大学生田キャンパス総合体育館(川崎市)で佐藤巧基(物理学科)と12大学が参る関東秋季リーグが9月9日から10月15日に開催され、昨季4位の筑波は8勝3敗で準優勝に終わった。また、主将の中根聡太(体育4年)が敢闘賞を受賞した。

学突戦では、第1セットを2つつかみ、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

【専修大学生田キャンパス総合体育館(川崎市)で佐藤巧基(物理学科)と12大学が参る関東秋季リーグが9月9日から10月15日に開催され、昨季4位の筑波は8勝3敗で準優勝に終わった。また、主将の中根聡太(体育4年)が敢闘賞を受賞した。

学突戦では、第1セットを2つつかみ、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

をかつき、3-0でスト

守備力強化が課題

筑波大学の秋季リーグは8勝3敗で準優勝に終わった。リーグ戦直前、中根主将(体育専4年)や秋山監督(体育系・助教)らから選手たちへ話、小畑勇輝(体育専4年)は「ブロックで相手のスパイクをかわすことが勝機につながった」と話した。

【専修大学生田キャンパス総合体育館(川崎市)で佐藤巧基(物理学科)と12大学が参る関東秋季リーグが9月9日から10月15日に開催され、昨季4位の筑波は8勝3敗で準優勝に終わった。また、主将の中根聡太(体育4年)が敢闘賞を受賞した。

観戦記

筑波大学の秋季リーグは8勝3敗で準優勝に終わった。リーグ戦直前、中根主将(体育専4年)や秋山監督(体育系・助教)らから選手たちへ話、小畑勇輝(体育専4年)は「ブロックで相手のスパイクをかわすことが勝機につながった」と話した。



新技の成功率はまだ半々、精度を上げていきたいと語る宮地 (10月30日、5C棟で)

史上最高・1難度の新技成功 宮地秀亨

10月9日(日本時間)にシドニーで行われた世界選手権で、1難度の新技「伸身レットシェネイダー」を成功させた宮地秀亨(体育専1年)が本紙のインタビューに応じた。これまで期待されなかったが、この大会で期待された「伸身レットシェネイダー」は金メダルを取った。「世界選手権の感想や今後の目標などを聞いた。(聞き手:明石隆二(体育専2年、写真も))

世界で戦うためつかんだ新技

大学3年の時に遊んで、心でアタリが伸びた。それをアタリで使う。今までは、15分間しかできなかったが、今は30分間までできるようになった。今、世界選手権でも完全な状態で出陣できる。これは、金メダルを狙えている。

【専修大学生田キャンパス総合体育館(川崎市)で佐藤巧基(物理学科)と12大学が参る関東秋季リーグが9月9日から10月15日に開催され、昨季4位の筑波は8勝3敗で準優勝に終わった。また、主将の中根聡太(体育4年)が敢闘賞を受賞した。

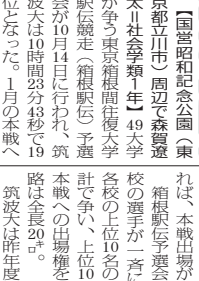
箱根駅伝予選会 19位で本戦出場逃す



関東学生連合チームに選ばれた相馬 (10月14日、国営昭和記念公園で) = 陸上競技部提供

【国営昭和記念公園(東京都立川市)周辺で森友選手権大会(男子)が10月14日に行われ、予選会出場権争いが白熱した。10月14日の予選会出場権争いは、11月の本戦出場権争いに直結する。筑波は10月14日の予選会出場権争いで、19位で本戦出場を逃した。

【国営昭和記念公園(東京都立川市)周辺で森友選手権大会(男子)が10月14日に行われ、予選会出場権争いが白熱した。10月14日の予選会出場権争いは、11月の本戦出場権争いに直結する。筑波は10月14日の予選会出場権争いで、19位で本戦出場を逃した。



ドリブル突破を図る西澤 (10月28日、慶應義塾大戦で)

好調維持し首位

関東大学リーグ サッカー

筑波は前日、右サイドでボールを受けた西澤(体育専3年)がゴールを決めた。筑波はこれで、3連勝を達成した。

好調維持し首位

関東大学リーグ サッカー

筑波は前日、右サイドでボールを受けた西澤(体育専3年)がゴールを決めた。筑波はこれで、3連勝を達成した。



ドリブル突破を図る西澤 (10月28日、慶應義塾大戦で)

【国営昭和記念公園(東京都立川市)周辺で森友選手権大会(男子)が10月14日に行われ、予選会出場権争いが白熱した。10月14日の予選会出場権争いは、11月の本戦出場権争いに直結する。筑波は10月14日の予選会出場権争いで、19位で本戦出場を逃した。



つばぜり合いで好機を窺う筒井(左)(10月29日、鹿屋体育大戦で)

2年ぶり13回目の優勝 鹿屋体育大との大接戦制す

「日本武進館」東京都千代田区で山本強(比較文化学科2年・写真も)が代表として全日本学生優勝大会(団体日本一)を争う全日本学生優勝大会が10月29日に終わる。筑波大が9年ぶり13回目の優勝を果たした。決勝の鹿屋体育大戦は、代表戦までもつれる大接戦となったが筒井雄大(体専4年)が勝利し、優勝を決めた。

準決勝の駒沢大戦、準決勝の別府大戦ともに大活躍した筒井は、優勝を手にすると「久しぶりの優勝は、うれしい。チームのために頑張ってきた」と振り返った。

筒井会心のメン

準決勝の駒沢大戦、準決勝の別府大戦ともに大活躍した筒井は、優勝を手にすると「久しぶりの優勝は、うれしい。チームのために頑張ってきた」と振り返った。

筒井の指導者である佐藤は、「今年も4年生は後輩を引っ張って優勝できた」と振り返った。

全日本学生選手権 女子団体戦4連覇



第1ダブルスで貫禄のある試合運びを見せた加藤(手前)、柏原(奥)ペア(10月22日、龍谷大戦で)

22日の準決勝では9月の秋季リーグ戦で敗れた明治大学の選手を相手に、3-0で破り、決勝に進んだ。同日行われた決勝戦では鹿谷大と対戦し、第1ダブルスの加藤(手前)、柏原(奥)ペアが、第2ダブルスの山本(奥)、筒井(手前)ペアに勝利し、団体戦4連覇を果たした。

第1ダブルスでは、加藤がリードしたが、山本の活躍で逆転された。第2ダブルスでは、筒井の活躍で逆転された。最終的には、加藤と筒井のダブルスが活躍し、優勝を決めた。

記者の目
「肩の荷が下りた。試合後に、主将の柏原が、優勝を祝った。勝利の瞬間、柏原が涙を流した。優勝は、4年ぶり13回目の優勝。道りの物語だった。9月に行われた秋季リーグ戦、香山(同1年)と加藤(同4年)がペアで出場できなかったが、加藤は「加藤(同4年)が昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする」と決意を述べた。主将の不在は、チームにとって大きな課題だったが、選手たちは負けず、優勝を手にした。

1、2年生の活躍光る

顔

4連覇を果たした。吹田(同4年)と山本(同4年)のダブルスは、昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする。筒井は、昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする。優勝は、4年ぶり13回目の優勝。道りの物語だった。9月に行われた秋季リーグ戦、香山(同1年)と加藤(同4年)がペアで出場できなかったが、加藤は「加藤(同4年)が昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする」と決意を述べた。主将の不在は、チームにとって大きな課題だったが、選手たちは負けず、優勝を手にした。



第2シングルスで激しい姿勢から粘りを魅せる香山(10月22日、龍谷大戦で)

伝わった主将の思い

だが、「悔が残らない。4年生の優勝は、うれしい。チームのために頑張ってきた。」と、主将の柏原は、優勝を祝った。優勝は、4年ぶり13回目の優勝。道りの物語だった。9月に行われた秋季リーグ戦、香山(同1年)と加藤(同4年)がペアで出場できなかったが、加藤は「加藤(同4年)が昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする」と決意を述べた。主将の不在は、チームにとって大きな課題だったが、選手たちは負けず、優勝を手にした。

日本一になるため筑波大へ

彼等の身体能力を生かして得点とリバウンドを量産し、パスも的確に回す。吉田(同2年)は、昨年の優勝経験から、柏原のサポートをする。筒井は、昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする。優勝は、4年ぶり13回目の優勝。道りの物語だった。9月に行われた秋季リーグ戦、香山(同1年)と加藤(同4年)がペアで出場できなかったが、加藤は「加藤(同4年)が昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする」と決意を述べた。主将の不在は、チームにとって大きな課題だったが、選手たちは負けず、優勝を手にした。

インカレ4連覇目指すバスケ部のホープ 牧隼利(体専2年)

自分の代で日本一を達成できなかった悔しさから、「今年こそは日本一になりたい」と、主将の柏原は、優勝を祝った。優勝は、4年ぶり13回目の優勝。道りの物語だった。9月に行われた秋季リーグ戦、香山(同1年)と加藤(同4年)がペアで出場できなかったが、加藤は「加藤(同4年)が昨年までの優勝経験から、柏原のサポートをする」と決意を述べた。主将の不在は、チームにとって大きな課題だったが、選手たちは負けず、優勝を手にした。

記録ファイル

全日本学生選手権(9月30日、10月1日)男子▽66級 大島和哉(体専3年) 優勝▽66級 末吉健(同4年)▽73級 野上悠(同4年)▽73級 内尾貴子(同1年) 優勝▽73級 石郷剛(同1年) 優勝▽50級 佐藤(同1年) 優勝▽50級 佐藤(同1年) 優勝▽50級 佐藤(同1年) 優勝

学生宿舎のインターネット

9月から速度低下



各居室にある接続装置 (10月31日、平砂学生宿舎で)

筑波大学の平砂、湯環、一の矢、春日、グローバルウィレッジ学生宿舎で無料利用できるインターネット(無線・有線)について、入居学生から「通信速度が特に夜間、大幅に低下する」との苦情が管理業者に寄せられていることが分かった。業者の調査では回線の混雑が原因とみられ、対策を講じているが、完全な解決には至っていない。業者側は「入居生に迷惑をかけ申し訳ない。解決に向けて対策を続けたい」と話している。(木村誠、写真も)

宿舎のネットはこれまで、中旬、入居生生間合の学術情報センター1階で利用。9月には6件の管理していたが、今年度、問い合わせがあった。業者から同センター業務負担の軽減を、宿舎のネット軽減を目的に民間業者へ業務委託した。業者によると問題は9月10日、現在、対策に効果は出ていない。

結果がある確認。効果がない場合は別の対策を取ることも検討している」と話している。本紙(10月28日)土曜日に実際に平砂学生宿舎でネットに接続し、時間帯ごとに筑波大ウェブサイトの表示までの時間を計ったところ、午後6時の段階では秒間1分かかったが、午後10時には1分もかからなかった。また多くの通信量が必要な動画の再生は、午後10時の速度を計測すると、午後6時比で約20分の1に低下していた。平砂学生宿舎に入居する学生(人文1年)は、ネットが遅く、課題の調べ物などで時間がかり大変だと言っている。早急な改善してほしい」と不満を漏らした。

東北の食と酒集う 地元の店が魅力発信



東北の地酒を販売する酒造業者 (10月15日、つくばセンター広場で)

筑波大学が主催し、東北地方の料理と地酒を一堂に集めた「食と酒東北」が、10月14日(土)〜15日(日)つくばセンター広場(つくば)で開かれた。東北地方の地酒の魅力を発信するイベントとして、開催は今年で4回目。会場には東北地方の名産品が並び、地酒の試飲も楽しめる。また、東北地方の地酒の魅力を発信するイベントとして、開催は今年で4回目。会場には東北地方の名産品が並び、地酒の試飲も楽しめる。

放置自転車の使用も罪に 学生に事情聴取も



学内で乱雑に置かれた自転車 (10月31日、春日エリアで) =竹添 撮影

他人の自転車を「放置された」として使えば、窃盗や占有離脱物罪の疑いで、中央警署の事情聴取を受けた筑波大生の存在が同署への取材で明らかになった。学生に「盗んだ」といふ意識はなく、放置や捨てられた自転車を拾ったという認識で、有効活用を考えたという。だが、同署では「防犯録で別人所有と分かれば、罪に問われる」とも注意を促している。学生の大部分は筆者からの依頼で大学側が撮影した自転車を引き取っている。(橋野朝奈 11日、日本文化学類3年、小宮山 生)

同署によると、1人は、学生宿舎の3階の廊下で自転車を捨て、そのまま約2カ月間放置していたが、大学付近で巡回中の警察官に職務質問を受け、自転車の防犯登録から他人のものだと判明。同署で事情聴取を受けた。結局、大学側が自転車を引き取った。また、ほかの学生は昨年、大

学構内の放置自転車を修理。約10カ月間使っていたが、同様に職務質問及び事情聴取を受け、結局、親が自転車を引き取ったという。このほか放置自転車を所持した学生が複数、同様に職務質問及び事情聴取を受けた。また、大学側が自転車を引き取ったケースもある。一方、大学内の駐輪場で未施錠の放置自転車、車輪が壊れていないが、学生が乗って帰った。学生は、その3日後、大学内で所有の自転車を再使用して再び職務質問を受けた。同署によると、つくば市内の自転車盗難は2013年の4,997件から16年に1,099件と増加。これに併せて同署もパトカーでの巡回や職務質問を強化していき、同署は「これまで職務質問などは高層階自転車に乗る人を中心に行っていた。注意を呼び掛けた。

来たが、(盗難)の増加を受け、普通の自転車も、積極的に防犯登録などの確認を行っている」と話している。昨年の同時期、事情聴取を受けた学生は、人だっ

つくば号150円値下げ 上り線のみ3月末まで



筑波大と東京駅を結ぶ高速バス「つくば号」 (10月27日、筑波大学中央のバス停で)

筑波大学と東京駅を結ぶ高速バス「つくば号」の利用者増加と利便性の向上をうけ、首都高東八潮PA(キータン)エリア(PA、埼玉県八潮市)への停車が10月1日から試験的に始まった。また、これに伴う上りの運賃の値上げが行われている。期間は来年3月末まで利用状況によっては値上げを継続される可能性もあるという。

「つくば号」は、987年(運行開始)、関東鉄道(本社・茨城県浦市)とJRバス関東(本社・東京都中央区)が共同で運行している。しかし、2005年からはエクスプレスの開通が影響し、利用率

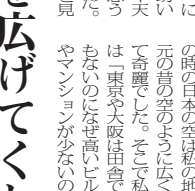
が下り線に比べ低いことから八潮PAへの停車と運賃の値下げが決まった。停車が決まった八潮PAは、かつてエクスプレス八潮と800円で乗車可能だったが、今年9月の利用者数は1ヶ月の053月に比べ、8割近く減少している。また、上り線の利用率

キャンパスを彩る秋の数々 広報室が写真展を開催

秋の筑波大学風景を収めた写真展「キャンパスを彩る秋の数々」が10月6日(土)から10月20日(土)まで、つくばセンターホール(つくば)で開かれた。この展覧会は、筑波大学のキャンパス内を撮影した学生や教職員の作品を展示する。今年度は、秋の季節をテーマにした作品が多く、紅葉の美しい風景や、学生たちの笑顔が印象的だ。展覧会は、来場者が紅葉の秋空をの写真を鑑賞し、

秋の筑波大学風景を収めた写真展「キャンパスを彩る秋の数々」が10月6日(土)から10月20日(土)まで、つくばセンターホール(つくば)で開かれた。この展覧会は、筑波大学のキャンパス内を撮影した学生や教職員の作品を展示する。今年度は、秋の季節をテーマにした作品が多く、紅葉の美しい風景や、学生たちの笑顔が印象的だ。展覧会は、来場者が紅葉の秋空をの写真を鑑賞し、

留學生の目 韓国 視野を広げてくれた日本



韓国 留學生の目 ジャン・ウトム

私は昔から好きで、特に夜空が好きでした。星を見るのも大好きで、星座を覚えて自分を探したり、山に星を見に行ったりしました。幼いころには手紙飛行機や天文学者になりた、と思うくらい空が好きでした。この頃にはあえて空を見

物に韓国よりの耐設計の基礎が中々、日本の建物の中で低い建物より高い建物のほうが多いと驚いていました。田舎より都市の方が高い建物が多いという事実が先進国ではあるほど高い建物が多いという先入観がありました。だから日本の方が韓国より高いビルや高層マンションなどが多いと思いましたが、答えは耐震設計にあるのです。韓国の場合、地震が少なく、日本は地震が多いので、私に比べて日本という国は学問を勉強するべきだ、という視野を広げることができました。日本語、日本文化学類1年生、特別聴講生、原文日本語

Who's Who?

陸上競技部で箱根駅伝出場に挑んだ

武田 勇美 さん (人文4年)



箱根駅伝予選会で、本戦出場を目指し力走する武田さん (10月14日、国営昭和記念公園で) = 森賀蓮太撮影

10月14日の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会で、副主将としてチームを引っ張った。予選会は14人の選手が一斉に出走し、上位10人の合計タイムを競う。筑波大学は10時間23分43秒で惜しくも19位で、10位以上が出場できる本戦への挑戦はかなわなかった。一部員は大学時代、家族

でも長い時間一緒に仲間たち。箱根の舞台でたすきをつなごうとした。だが昨年チーム合計で記録縮め、未来を思いを詰めた。駅伝チームは09年からの第1回大会当時の四大校駅伝競走では前身の東高高等師範学校が優勝。だが94年を最後に本戦出場をしていない。そこで

駅伝チーム副主将として活躍 箱根へのたすき 未来へつなぐ

入試で筑波大の文学類に入学。すぐに陸上競技部に入部した。だが部には体育専門学部の学生が多いうちから4番。また授業の都合で練習や合宿の予定が合わず、参加できないことも多かった。「合宿に参加した多くの部員はきくタイムを伸ばした。参加できないのが悔しかったと振り返る。

3年生の時から弘山監督が就任。厳しい「インタールトレニング」が始まった。1kmを5分以内で走った後、200mを5分掛けてジョギングするセットを10本行い、その後1000mを制限時間内に走る。心臓が、ほかの部員との差を埋めようと、普段の練習後自主練習として追加で走り込みや筋トレに励んだ。タイムは走る度に縮まった。入学当初は5000mが15分40秒だったのが、14分34秒と部内で2番目のタイムとなった。その実と正直な評価が評価

され、駅伝チームの副主将となった。弘山監督の改陣は、練習だけにとどまらなかった。チームの結束力を高めるという理由で、私生活でも先輩たちが考えた駅立を部員が交代で作った。「こまめに練習が必要があるのか」と疑問も思った。だがこの疑問は長い意味で裏切られた。部員は約30分から約30分へと平均タイムは約3分から約3分へと1分近く短縮。チーム内の雰囲気も大きく変わった。それまでは部員がそれぞれ自分のペースで走っていた。部の結束力が弱かった。だが今の予選会に向けた練習は、厳しい練習を皆乗り越えた。「皆で強くなりたい」という思いがあった。箱根駅伝に向け、自身の手連の通過がかなわなかったのは事実だ。だが過去からつないだ「箱根」へのたすきは後輩へとつなげられるはずだ。次号は、12月11日(月)発行予定です

次号は、12月11日(月)発行予定です

森川亮さん講演



起業について講演をする森川さん (10月4日、共同利用棟Aで) = 産学連携企画課提供

2面へ

落語研究会 口演会



舞台上に並ぶ落語研究会の会員たち (10月9日、デイズタウンくづばで) = 南主撮影

5面へ

サッカー 関東大学リーグ



ゴール前にボールを上げる野口 (10月28日、味の素スタジアム西競技場で) = 小宮山映生撮影

8面へ

東大通りで道路陥没



陥没した路面の地中には深さ約4桁の空洞が広がっていた (10月30日、東大通りで) = 田中間 (教育学類4年) 撮影

11面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

す。奨学金制度の見直しが議論され始めています。学生の将来への不安は、衆議院選挙の結果にも大きく現れました。出口調査では、小選挙区で自民候補投票する学生が約7割という非常に高い結果が出ました。また、学生が政界入りすることを望む割合も増加しています。また、学生が政界入りすることを望む割合も増加しています。また、学生が政界入りすることを望む割合も増加しています。